

茨城県中央地域定住自立圏共生ビジョン（素案）の概要について

1 策定の趣旨

茨城県中央地域定住自立圏共生ビジョンは、水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町及び東海村の9市町村で形成する圏域の目指すべき将来像を掲げ、その実現を目指し、9市町村が相互の役割分担の下に、連携して推進していく具体的な取組内容等を示すため、策定するものである。

2 計画の期間

2017（平成29）年度から2021（平成33）年度までの5年間とする。

3 圏域の将来像

茨城県中央地域に位置する9市町村は、平成20年1月に県中央地域首長懇話会を設置し、これまでも都市間協働、連携によるさまざまな取組を行ってきたところである。このような連携をより一層強化し、陸・海・空のネットワークや数多くの地域資源など、この地域ならではの強みを活用しながら、人口減少等がもたらすさまざまな課題に一丸となって対応するため、生活機能の確保や地域の活性化に資する取組などを通じて、人口の定住につなげるとともに、圏域全体の活力を創出し、持続可能な圏域づくりを目指す。

<圏域の目指すべき将来像>

「安心して住み続けられる、笑顔で行き交う圏域」

4 具体的取組

定住自立圏形成協定に基づき、7分野8項目20事業をビジョンに位置付け、取組を推進するものとする。

<施策の体系>

